

全演劇事務局

京浜協同劇団

〒212-0052 川崎市幸区古市場二丁目109 TEL 044-511-4951 FAX 044-533-6694

フェスティバル事務局 銀河ホール

〒029-5511 岩手県西和賀町上野々39-195-2 TEL 0197-82-3240 FAX 0197-82-2883

# 大交流会

雨天のため川尻体育館に  
会場を変更 20時30分から少し  
遅れて始まった。

西和賀町生涯学習課長 高橋 達(とある)さんの  
挨拶で交流会は始まりました。司会は参加者の  
顔のほとんどを知っているという噂の新田 満さんと  
仙台小劇場の看板女優高森順子さん。目の前には  
心づくしのオードブル、しっかり冷えたドリンク  
コーナー。この地域の特産山内(さんない)の里芋  
を使った東北ブロックの秋田いものこ汁(仙台小)  
伝説の玉こん(劇団山形)コーナーなどが準備され  
ている。

湯本鬼剣舞(おにけんばい)がはじまると、報道陣  
でなく参加者のカメラの列。デジカメ、本格的一眼  
レフ、携帯電話まで負けじと一斉にシャッターチャン  
スをうかがっている。

おお、賢治もこういう雰囲気を見ていたのか。鬼がはねる。  
鬼が踊るぞ。押さえつける者とそれに抗う者とが無言の中で、荒々し  
くぶつかり合う、ああ、人の心にすくう鬼たちだ。

さあ、飲み物コーナーにはまた新しい酒が現れた。味見を繰り返して  
いるうちに、鬼たちが回っているのか、自分が回っているのか分から  
なくなってしまった。

ステージは美しい二人の女性が舞う湯田みかぐら。ううむ、ドリンクコーナーにはワンコインを持って  
次々に飲んべえ・・・失礼、参加者たちが押し寄せてくる。

各劇団の紹介が始まった。北海道から福岡まで150人に近い参加者が次々に登場してくる。北海道か  
らは二週間後開かれる北海道演劇集団の「北海道演劇祭」に関するアピールが行われた。

明日の舞台の準備している「きづがわ」の方々  
はどうしているだろうか。

キターッ! 京浜協同劇団の得意芸「南京玉すだれ」だ。  
それにしてもゴローちゃんといえ、玉すだれといえ、京浜は  
芸達者ぞろいだ。だいぶ前に、劇団の活動資金を稼ぐとい  
う「一人一芸」論に、旧い記者たちは、その活動方法に薰陶  
を受けたことを思い出した。これだこの芸だ。

天気はこの和気藹々の交流に嫉妬していたのだろうか。  
雨は交流会の間中降り続けた。

西和賀町のみなさんあいがとうございました。



# 重厚な舞台に感動した 劇団きづがわ「二人の長い影」



中野さんはいつも希望を失わない

地元の女性は「よかったです。舞台装置もよかったです。」 全り演の男性は「舞台転換が早いと思ったら、回り舞台なんですね。すごい舞台を持ってきましたね」と14時間もかけて駆けつけ、見せてくれた舞台の舞台上の成果に酔いしれていました。

## 合評会

全ての舞台終了後、Uホールで恒例の合評会が開かれました。出席者は45名。新田 満さんの司会で、時には厳しく、時には笑いも交えながら、一つ一つの舞台を振り返りました。前進座の鈴木龍男さんが、それぞれの舞台をまとめて下さいました。



合評会の様子はテープおこしされ、それぞれの劇団に伝えられます。また記録として残されるそうです。